



様式第二号の八 (第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

H.29年2月7日

都道府県知事
(市長)

殿

提出者

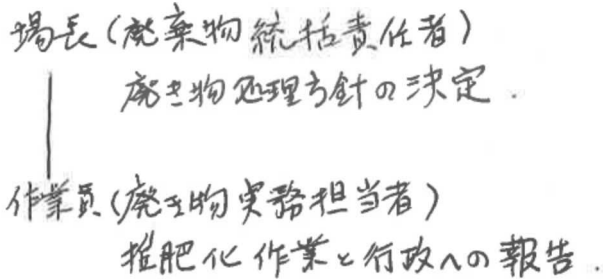
住所 福岡市博多区青木2丁目183
氏名 ライファーム(株)代表取締役 山内智恵
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 092-621-3803

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ライファーム(株)小谷農場
事業場の所在地	日田市大字高瀬小谷7098-1
計画期間	H.28年4月1日～H.29年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	肉用鶏 700,000羽
③従業員数	4人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿 ①自ら堆肥化. ②肥料会社へ売却. 動物の死体 ①焼却炉にて焼却. ②残りは堆肥化.

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度 (H.27 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	糞物のふん尿	動物の死体
①現状	排出量	1.400 t	21 t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	糞物のふん尿	死体
	排出量	1.400 t	21 t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（H.27年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿 死体
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	900 t 21 t
	(これまでに実施した取組) ・堆肥化・	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿 死体
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	900 t 21 t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（H.27年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿 死体
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	900 t 21 t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿 死体
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	900 t 21 t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) なし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 27 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	卸物のふん尿
	全処理委託量	500 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	500 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(これまでに実施した取組)

・卸物のふん尿は、すべて堆肥会社へ売却。

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ふん尿	
	全処理委託量	500 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t
	再生利用業者への 処理委託量	500 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t
	(今後実施する予定の取組)		
・卸物のふん尿は、すべて担肥会社へ売却。			
※事務処理欄			

